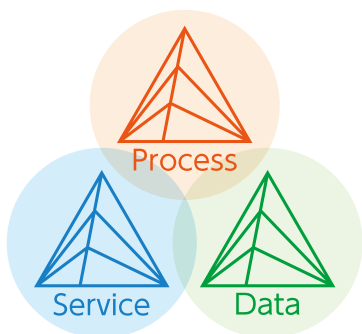


TriSynergy® (トライシナジー)は、ビジネス視点での業務の可視化(モデリング)とIT視点でのシステム機能の可視化(モデリング)、情報の可視化を融合させ、変化に強い柔軟な企業の連携基盤を構築します。



業務・機能・情報を可視化し、プロセス・サービス・データの連携基盤を構築します。それぞれの連携基盤がもたらす相乗効果により変化対応に迅速に対応でき、既存／新規を問わずビジネスの発展に貢献します。



- 業務部門での迅速な新規ビジネス立ち上げを支援
- 冗長な連携処理を発見しシンプルでリアルタイムな連携に
- 現在だけではなく未来の予測を行える連携基盤



業務の可視化

業務プロセスの可視化を行い問題の構造、業務のあるべき姿、業務の全体像を明らかにして、気づきを得ることができます。気づきからシステム化範囲を検討し満足する業務プロセスとシステムに改善することができます。

BPM
Business
Process
Management

業務プロセスの可視化から業務実行／パフォーマンス分析／業務改善を継続的に実現



業務分析



プロセス作成



システム化範囲



機能の可視化

ビジネスプロセスとサービスを分離し実際に業務処理を行うためのシステム機能を、標準化された仕様で公開することで資産を有効活用することができます。連携先の増加、リアルタイム処理が求められる企業の連携基盤となりシステム機能を可視化することができます。

SOA
Service
Oriented
Architecture

既存システム／パッケージ／クラウドサービスなどを機能部品としてサービス化して利用できる環境を実現



現状分析



可視化



機能利用



情報の可視化

システム間のインターフェース差異を吸収できるデータ連携基盤(ESB)を活用し、求められるビジネス拡大・俊敏性に対応することができます。また、既存システムを活かしつつ業務システムを拡張しシステム・データを可視化することができます。

ESB
Enterprise
Service
Bus

システムを疎結合にデータ連携するばかりでなく、サービスの提供側と利用側を連携する基盤を実現



データベース



ファイル



Webサービス



クラウド

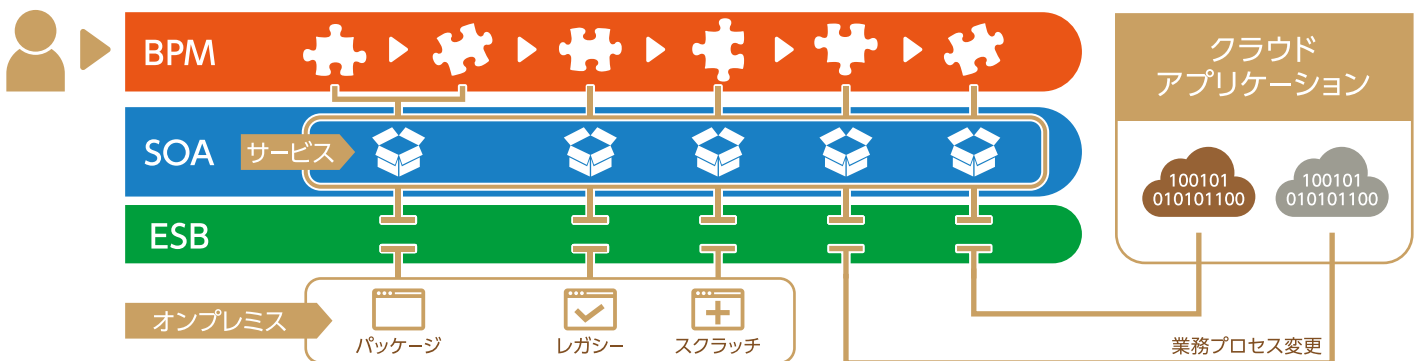
TriSynergy®ソリューションは、業務・機能・情報の現状を客観的視点で問題把握し原因分析するコンサルティングから、システム化範囲を検討、システム構築に必要な技術的な課題検討、システムの構築／開発のサービスメニューを展開しています。

TriSynergy® Solution



TriSynergy®ソリューション例

TriSynergy®ソリューションが適用された連携基盤は、クラウド、オンプレミス間を問わず様々なアプリケーションと連携することができます。プロセス・サービス・データの追加や組み換えも柔軟に対応できます。



企業に、感動という付加価値を。

株式会社ワイ・ディ・シー

情報活用基盤事業本部

〒183-8540 東京都府中市府中町1-9 京王府中1丁目ビル

TEL:042-333-6217 FAX:042-352-6104

E-Mail:advocacy-sales@ydc.co.jp

http://www.ydc.co.jp/

YDC Corporation 2015 ©All Rights Reserved.

※記載の組織名称等は2015年10月時点のものです。

■お問い合わせ先